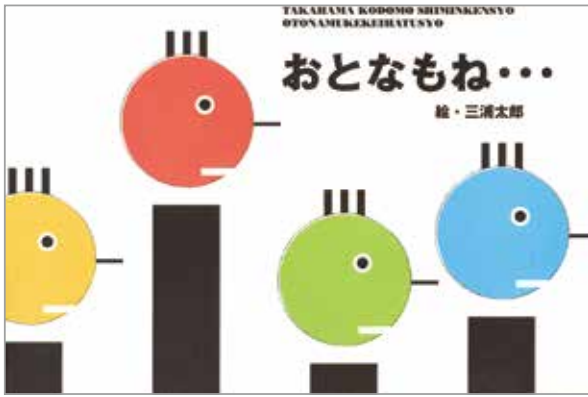


平成18年発行



**三浦 太郎さん**  
1968年西尾市生まれ  
イタリア・ポローニャ国際絵本原画展で入選を重ね、海外でも絵本を出版。著書は「WORKMAN STENCIL」(Edizioni Corraini)、『くつついた』(こぐま社)、『バスがきました』(童心社)、『りんごがコロコロリンコ』(講談社)、『おはなをどうぞ』(のら書店)など多数。「ちいさなおうさま」(偕成社)で産経児童出版文化賞美術賞。2014年ポローニャ近代美術館で個展

たかいよしかずさん

1961年大阪生まれ  
(株)京田クリエイション勤務。HAPPY CREATOR としてイラストレーションにかぎらず見た人を元気づけられる作品を作ることがモットー。児童書の金字塔「怪談レストラン」キャラクターデザインなど。01、02、03、06、11年イタリア・ポローニャ国際絵本原画展入選



平成16年発行



## たかはま子ども市民憲章啓発絵本 「わたしはね…」と「おとなもね…」



—わたしは世界でただひとり、だから大切。あなたも世界でただひとり、だからやっぱり大切— 子どもの人権をうたう「たかはま子ども市民憲章」(平成15年11月制定)を子どもたち自身に親しめるものにと作成された2冊の絵本がある。

『わたしはね…』は、たかいよしかず氏のカラフルなイラスト。読者が自然に「個性」を考えるしかけだ。実は、たかい氏は、大手菓子メーカーの人気キャラクターなどのほか、今や、たかはまの子どものおお半が知るカワラッキーの生みの親でもある。たかい氏は「これから子どもたちが成長していくうえで、必要な力は2つのそうぞうりょく(想像力と創造力)、物事を考える力だと思います。それを養う手助けになるのが絵本ではないでしょうか。」と語る。

三浦太郎氏の絵とデザインによる『おとなもね…』は、おとなとして子どもとの関係のなかで心にとめるべき事柄が描かれる。簡潔だが、ハッとする読者は多いはずだ。西尾市出身でこの地域とも縁が深く、海外でも活躍している。この絵本の発行後に父親となった三浦氏は、あかちゃん向けの絵本も手がけ「娘が生まれ絵本の制作や身の回りのことが180度変わりました。大変なこともたくさんありましたが、家族の存在、子どもの成長に幸せを感じる毎日です。」と、ふりかえる。

この2人は、共に、2001年のイタリア・ポローニャ国際絵本原画展に入選し、日本巡回会場のかわら美術館でトークイベントを行った。これが縁で2冊が生まれたともいえる。図書館で借りて、親子でいっしょに読むと、嬉しい発見があるかもしれない。

## “撮っておき” の たかはま 【第57回】

「ひと」「もの」「文化」などなど、有形・無形を問わず、高浜市の日常の暮らしの中にあるとっておきの「お宝」を紹介します。

# LELA A PÁGINA EM PORTUGUÊS!

ポルトガル語のページを読んでください!(17ページ)

広報たかはま  
編集・発行/高浜市役所総合政策グループ

〒444-1398 愛知県高浜市青木町四丁目1番地2  
TEL (0566) 52-1111 FAX (0566) 52-1110  
http://www.city.takahama.lg.jp/  
電子メール info@city.takahama.lg.jp

早期配布にご協力ください。